

梁小学校だより

小山市立梁小学校
校長 金森 宏
TEL 0296-33-3665
FAX 0296-33-6764



3/5(日)の閉校式・梁小お別れ会では、保護者・地域の皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。

本当の意味での梁小閉校まで残り2週間ばかりとなりました。「梁小学校だより」も今月号が最終となります。長い間、ご覧いただきありがとうございました。

また、3/31をもって本校職員15名全員が梁小を離任することになります。私たちにとって梁小に勤務できたことは何よりの喜びであり、誇りとするところです。保護者の皆様、地域の皆様に心より御礼を申し上げます。

◇6年生に感謝する会 2月14日(火)



今年度、最高学年として、リーダーシップを発揮し、梁小学校を見事に引っ張って



てきてくれた6年生に対し、5年生が中心となって企画・運営をし、感謝の気持ちを伝える会を実施しました。

伝統となっている「梁レンジャー」もしっかりと5年生に受け継がれ、伝言ゲームや校内ウォークラリーで楽しい時間を過ごすことができました。

4月から同じ学校とはいえ、校舎等が違ったり、登校班でなくなったりするため、これまでのように接する機会は減るものと思います。

それでも6年生には梁の後輩達を気にかけてもらいたいと願っています。5年生には前期課程の最上級生として頑張ってもらいたいと思います。

◇絹義務教育学校校歌(3年)

2月15日(水)

絹義務教育学校の校歌を作詞された大塩宗

里先生(元絹中校長)、作曲された鹿谷美緒子先生(作曲家・東京在住)が来校されました。

これは実際に新しい校歌を子どもたちが歌うのを聴いてから最終決定をしたいという鹿谷先生のご要望によるものでした。



3年生が歌うのを聴いてもらいましたが、とても元気な歌声に大塩先生・鹿谷先生も大変満足され、お褒めの言葉をたくさんいただきました。1~9年生までが歌うことを念頭に作詞・作曲をお願いしました。作詞では、絹の自然や歴史、各校の現在の歌詞の一部も盛り込んでいただき、作曲では、明るくはつらつとした曲調となっています。

4月10日(月)の絹義務教育学校の開校式でお披露目されます。一足先にお聴きになりたい場合、3年生にお声かけください。

◇栃木県民球団『ゴールデン・ブレイブス』野球教室 2月21日(火)



4月から始まる野球の独立リーグ、BCリーグに参戦する栃木県初のプロ野球チーム『ゴールデンブレイブス』の監督・選手・スタッフが来校し、子どもたちにボールの投げ方について指導していただいたり、一緒に給食を食べたりしていただきました。

野球教室では、辻監督(元福岡ソフトバンク所属の選手)が中心となり、より遠くに、正確

に投げるコツを教えてくださいました。体重移動・バランスの取り方などを低学年の子にも分かりやすい言葉で、テンポよく教えてくださいました。ユーモアもあり、子どもたちは集中して満面の笑みで取り組んでいました。

ゴールデンブレスは、4月から閉校となる梁小を小山市から借用して、体育館でのバッティング練習や、教室での筋力トレーニング等を行う予定です。

子どもたちも監督や選手達と直接ふれ合い、親しみを持つことができました。梁地区と関わりの深いチームとして、応援をしていただけたらと思います。

◇閉校式・梁小お別れ会 3月5日(日)

135年の歴史に幕を下ろす「閉校式」と「梁小お別れ会」。「感謝」「感動」「笑顔」をキーワードに計画・準備・練習を進め、当日を迎えました。



閉校式は厳粛な雰囲気の中、子どもたちは集中して臨み、残り3回しか歌えない校歌を胸を張って元気に歌い上げました。児童代表の感謝

の言葉では、6年岩淵理央さんが、原稿を持たずに、見事に梁小と梁小を支えてきてくれた方々への感謝の言葉と、4月からの絹義務教育学校での抱負を堂々と発表し、感銘深い式典をなりました。



その後行われた「梁小お別れ会」では、はじめに学年発表で地域や保護者への「感謝」、ユーモアの中に「笑顔」、そして絹義務教育学校での新しい生活に対する「希望」を表現しました。次の最後の梁小音頭の発表では、お囃子ボランティアの方々とのコラボ演奏を行い、参加者の手拍子が鳴り響く中、一体感を生み出すことができました。

華やかな演奏の後に行われた「伝統の火の引き継ぎ式」では、会場全体が闇に包まれ、静ま

りかえる中、幻想的な光が次々と輝き出す演出にさらに感動が高まりました。



135年の歩みを振り返るスライドショーに続き、フィナーレを飾る児童の「呼びかけと嵐バージョンのふるさと」と会場全体での「ふるさと」(文科省唱歌)の合唱。子どもたちの心が指揮・伴奏に乗り、会場の参加者にしっかりと届いたと確信しました。そして最後の会場全体での「ふるさと」の合唱では、ステージ上から参加された方々を見渡しましたが、あちらこちらでハンカチを手にし涙をぬぐっている姿が見られ、梁小がなくなることを会場全体で惜んでいることを実感し、私も涙腺が緩みました。

お別れ会終了後、会場を後にされる方々から「心から感動しました」「すばらしい子どもたちですね」「先生方の御苦勞に感謝します」といった声をたくさんいただきました。



午後の親子バルーン・リリースも多く、ボランティアの皆様のご協力により準備も整い、児童代表の6年

野澤広樹さんのあいさつに続くカウントダウンに合わせ、色とりどりの風船が一斉に放ちました。たくさんの風船が青空に舞い上がる様は、まさに閉校式・梁小お別れ会を締めくくるにふさわしいものでした。7日(火)には、風船を拾われた茨城県茨城町(梁小から約60km)の女性から心温まるお便りをいただきました。

保護者・地域・卒業生の皆様のごこれまでの御支援・御協力に心より感謝申し上げます。

お詫び

3月1日付けで各戸に配付した閉校記念誌並びにDVDの中に、本校のものでない画像が数枚含まれていました。記念誌作成を依頼した業者に本校のアルバムを預けましたが、画像としてデータ化した際に他校の画像を紛れ込ませてしまったことによるものです。学校としても最終確認しましたが、把握できず申し訳ございませんでした。心よりお詫び申し上げます。